

# 中沢秀平 市議会報告 日本共産党

みなさん、新しい年をいかがお過ごしでしょうか。臨時国会で、安倍政権は、環太平洋連携協定（TPP）、カジノ法案、年金カット法案などを次つぎと強行採決しました。民意無視、悪政強行の安倍政権は、一日も早く退陣に追い込みましょう。

オスプレイ墜落糾弾・沖縄への強権政治ストップ、安保法制廃止、格差と貧困なくす、憲法改悪、原発反対、待機児童解消、男女共同参画、被災者支援等々、私たち国会議員団と予定候補もみなさんとともに、全力で取り組みます。

総選挙では、「大義の旗」を掲げ、野党と市民が「本気の共闘」に取り組み、自民、公明、維新の候補を打ち破り、与党を過半数割れに追い込みましょう。

「比例を軸に」北関東で3議席以上獲得、小選挙区でも議席を獲得しましょう。

「日本共産党の躍進で希望ある日本を」とともに切り開くではありませんか。

2017年初春

- 日本共産党衆議院議員 塩川 鉄也
- 日本共産党衆議院議員 梅村ささこ
- 日本共産党参議院議員 紙 智子
- 日本共産党茨城県副委員長 大内くみ子
- 日本共産党栃木県書記長 小池 一徳
- 群馬4区国政対策責任者 はぎわら貞夫
- 日本共産党藤岡市議会議員 中沢 秀平



## 中沢秀平議員 12月定例会 議会報告

### 一般質問

#### ○病院跡地について

公立藤岡総合病院の移転まで一年をきっています。市民の大きな関心事ですが、どのように活用されるのか分かっていません。藤岡市では建物を活用するのか解体していくのか、土地は売却するのか、といった方針もまだ決まっていないうつです。建物の構造や費用など課題が多く、いまは市の担当部署と病院とで協議を始めたところです。

現在の入院棟の敷地



は病院を運営する組合の所有する土地が大半ですが、中心市街地に近く藤岡のなかでも重要な土地のひとつです。今回の質問に先経って、周辺の約200戸を対象にアンケートを実施しました。そのうち在宅で話を聞けたのは85人ですが、跡地の活用について市から説明を受けた人はいませんでした。

病院跡地の活用や今後については様々な意見（別紙参照）が出ましたが、多くの方の共通の思いは勝手に決めてしまつことはしないで欲しいというものです。市民にとって有効な活用が望まれます。市民の参加も含めた検討委

藤岡総合病院・入院棟の跡地利用についてのアンケート集約

入院棟跡地について市から説明があったか	説明は必要と思うか	跡地についての利用方法（複数回答）	回数
あった	必要 43	高齢者の福祉施設	56
ない	必要なし 18	児童・青少年施設	10
無回答	分らない 3	民間に売却	7
	関心なし 1	公園、市民の憩いの場	10
		商業施設	8
		わからない	16
		その他	13
回答数	85		

《裏面に続きます》

員会の設置など、考えはないか質問しました。答弁では検討委員会の設置の予定はなく、方針を市と病院で協議するまでその状況も公表できない、というものでした。藤岡市は総合計画で「語らいのあるふじおか」を謳っていますが、決定が報告されるだけでは「語らい」とはいえないと思います。

## ○自衛隊の職場体験について

群馬県内では中学校の教育課程に職場体験学習を取り入れています。藤岡市でも「チャレンジウィーク」として、中学2年生がそれぞれの希望に合わせて、市内を中心とした事業所などで5日間の職場体験を行っています。受け入れ事業所は約200あり、自衛隊もそうした事業所のひとつとして、中学生を受け入れています。今回の質問ではこの自衛隊での職場体験が「チャレンジウィーク」として問題であることを、2つの点で指摘しました。

### 本来の目的から逸脱

### 自衛隊の宣伝

「チャレンジウィーク」の目的は「生徒の自主性を高める」ことや「地域の子どもを地域で育てる気運を高める」ことにあります。そのため、基本は藤岡市内の事業所であり、生徒自身の足で通える場所が望ましいとされています。しかし自衛隊の職場体験では地方協力本部の送迎バスで東京の駐屯地まで「チャレンジウィーク」したことは原則から逸脱しています。

生徒たちが職場体験に名を借りた自衛隊の広報活動に利用されていることです。自衛隊の広報を担当する地方協力本部の運営するホームページに、「職場体験だより」として藤岡の中学生の職場体験をしている様子も掲載されていました。主に朝霞の広報センターで撮影された写真が使われ、職場体験というよりはまるでテーマパークを楽しんでいるように演出されています。

ていました。子どもたち自身の働くことに対しての思いなどは見えず、単なる自衛隊を宣伝する材料とされてしまっています。

市教育委員会の答弁では「チャレンジウィーク」としてふさわしい内容であったとしても、容があきらかです。自衛隊の職場体験は見直すべきです。

職場体験だより「職場体験NOW」等の画像の一部



## 2つの議案に反対討論をしました

### ○ゆったり館の廃止とする条例

いま、利用している人のなかには自宅で入浴できない人もいます。代替え案として提案されている栗須の郷の利用は、バスの便が午後5時以降はないこと、費用が倍になることから現実的ではありません。今後のバスの便数や時間の変更が必要です。

ゆったり館のような中心市街地の貴重な交流施設をなくしてしまうことは、経済的なコスト

トの削減という以上に市政と市民文化にとって大きなマイナスになると考えます。

### ○農業委員等の定数を定める条例

国の農業委員会等に関する法律が改定され、農業委員の選出が選挙制から任命へと変わり、新設された「農地利用最適化推進委員」は農地の流動化と集約化を行なうことを目的としています。

ます。農地の番人としての役割を果たしてきた農業委員会を变质させ、地域農業を衰退に導くものであり賛成できません。

ゆったり館アンケート集計結果

①利用の頻度と回数は		③地域	
はじめて	2	市内	19
週に1～2	2	市外	1
週に3～4	13	④利用者減理由(複数回答可)	
月に1～2	3	特になし	7
②利用理由(複数回答可)		人口減少	4
風呂がない	3	高齢者が施設に入った	2
交流するため	5	営業時間	2
大きな湯船	11	せまい	1
その他	3	古い施設	1
回答数	20	内風呂が普及	1

※2016年11月15日、17日、19日の3日間実施したものを集計アンケートの実施方法はゆったり館発付で利用者に見学員送る形式をとった